

## ハーバード大学滞在

工学系研究科物理工学専攻 博士課程 2年 山口裕樹

2017年8月28日より11月22日まで、ハーバード大学のDavid Nelson教授の研究グループに滞在し研究を進めた。Nelson教授は凝縮系物理を専門とする理論家で、近年は生物物理の分野でも顕著な成果を上げている。

私は滞在中、腫瘍形成における細胞集団の増殖の理論的な研究を行った。また、バクテリア集団のrange expansion（個体の増殖等によりその生息領域を拡大する過程）の数値計算を行った。この結果から明確な結論まで至らなかったが、腫瘍形成の理論との共通点・相違点に関する理解も深まり有意義であった。

私が滞在したボストンは、ハーバード大学の他にもマサチューセッツ工科大学やボストン大学等が連ねる学園都市であり、大学及び分野を跨いだ交流が盛んに行われていたのが印象的だった。特に生物物理の研究は活発に行われていて、頻繁に開催されるセミナー等も大きな刺激になった。

私の滞在を受け入れてくださったDavid Nelson教授に感謝申し上げます。また、滞在中にお世話になったハーバード医大のAllon Klein教授と川口喬吾博士、NelsonグループとKleinグループの皆様感謝申し上げます。最後に、本滞在をサポートしてくださったALPSの皆様感謝申し上げます。



ハーバード大学ライマン研究棟